



上野小学校だより

令和6年6月4日
第3号
勝浦市立上野小学校
HP <http://www.chiba-a.jp/ueno-e/>

令和6年度 運動会

テーマ「絶対勝つ 気合を入れて 勝利をつかめ」

6月1日、運動会を開催しました。赤組団長 和佐間杏奈さん、白組団長 栗原龍生さんの力強い選手宣誓の声がグラウンドいっぱいに響き渡り運動会がスタート。今年のテーマは、「絶対勝つ 気合を入れて 勝利をつかめ」(6年生 白石結愛さん)です。このテーマの通り、子供たちはどの競技も気合十分、勝利を目指して全力で戦いました。また、4、5、6年生は、それぞれの係の仕事にも一生懸命取り組み、高学年として立派に役割を果たしました。子どもたち一人一人が輝いた、素晴らしい運動会になりました。

保護者の皆様には、子供たちに最後まで温かい声援や拍手を送っていただき、ありがとうございました。また、奉仕作業での環境整備、当日のグラウンド整備やテントの設置、後片付け等、多くの保護者の皆様にご協力いただき、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



夷隅郡市陸上競技大会

5月19日(日)、国際武道大学を会場に、夷隅郡市陸上競技大会が行われました。上野小の代表として各競技に参加した選手のみなさんは、練習の成果を発揮し素晴らしい活躍を見せてくれました。また、選手のサポート役として積極的に活動したり、全力で応援したりする子どもたちの姿に、上野っ子のチームワークのよさを感じました。

保護者の皆様には、たくさんのご協力や応援をいただき、ありがとうございました。

～入賞おめでとうございます～

- | | | |
|------------|-----|-------|
| 5年女子 100m | 第2位 | 渡辺 陽菜 |
| 5年男子 100m | 第3位 | 水野 一翔 |
| 男子ソフトボール投げ | 第3位 | 栗原 龍生 |
| 男子走り幅跳び | 第5位 | 山下 無双 |
| 女子走り高跳び | 第5位 | 和佐間杏奈 |
| 男子60mハードル | 第6位 | 荒井 蒼介 |
| 女子400mリレー | 第8位 | 關 結衣菜 |
| | | 和佐間杏奈 |
| | | 黒川 詩織 |
| | | 渡辺 陽菜 |



6月の行事予定

6月1日(土)	運動会 ※雨天順延	17日(月)	クラブ活動
3日(月)	振替休業日	18日(火)	たけのご学級
4日(火)	全校朝会	20日(木)	磯観察(吉尾海岸) (予備日21日)
6日(木)	教育指導員学校訪問	24日(月)	水泳指導開始
7日(金)	プール清掃 ヤゴとり スクールカウンセラー勤務日	27日(木)	チョウの羽化授業3年 (キュステ)
10日(月)	体重測定(低) 委員会活動 諸費自動払込日	7月の主な行事	
11日(火)	体重測定(高)	7月 3日(水)	6年校外学習(国会他)
12日(水)	交通安全教室	19日(金)	1学期終業式
13日(木)	ヒラメの放流体験(3・4年生)	22日(月)	
14日(水)	東上総教育事務所訪問	~24日(水)	個人面談
15日(土)	県民の日		

東京ディズニーシー ファンタジースプリングスプレビュー



5月22日、6年生が東京ディズニーシーを訪れ、6月6日にオープンする新テーマポート「ファンタジースプリングス」を楽しみました。県と株式会社オリエンタルランドは、令和5年1月に「文化芸術等に関する包括連携協定」を締結し、子どもたちの知的好奇心や思いやりを育む「心の育成」を目的とした様々な事業を実施しています。その一つとして、東京ディズニーシーに誕生する新エリア「ファンタジースプリングス」に、オープン前のプレビューとして、県内の小学6年生6000人が招待されました。ディズニー映画の世界観を表現した美しい園内と、最先端の技術により実現した臨場感たっぷりのアトラクションを、思う存分楽しんだ子供たち。行く先々で、笑顔とハイタッチで迎えてくれるキャストのみなさんの姿から学ぶことも、たくさんあったようです。小学校生活の最高の思い出ができました。



6月の校長先生お話「かわいそうなゆでカエルのお話」

今日は、アメリカのバイトソンという学者のカエルの話をします。クイズを出します。「熱いお湯の中にカエルを入れると、さてどうなるでしょう」そう、答えは熱くて「飛び出す」です。ではもう一問。「今度はぬるま湯の中にカエルを入れ、徐々に熱く熱していくとどうなるでしょう」何と「ゆであがって死んでしまう」のです。死ぬほどの熱さになっていることに気付かずに飛び出すきっかけを失ってしまうからです。理科の実験の話でなく、人間の心、心理学の話です。

実はこのお話は、「いたづらをする」「ものを隠す」「いじめる」「人のものを盗る」「仲間外れにする」など、「そのくらいいいじゃない。小さな事だよ。」と言って平気で悪いことをしてしまうことと同じなのです。「これくらいならいいだろう」「自分だけじゃない。みんなもやっている。」「だれも見っていないから大丈夫」という考えは、ぬるま湯につけて少しずつ熱していくのと同じなのです。気がついたら悪い大人になっていたということなのです。 ~中略~

「ちょっと困らせたい」「自分のイライラを解消したい」だけなのかもしれません。でもそういう気持ちがどんどん自分の心の中で膨らむと、人の痛みを感じない心になってしまいます。そうすると大人になっても、相手が嫌がることや、傷つくことを平気で行うようになってしまいます。このような人達は犯罪を繰り返し、警察に捕まるまで目が覚めません。「かなしいゆでカエル」にならないように、些細な事、小さなことと思わず、「やってはいけないことは絶対にしない」という気持ちをもってほしいと思います。そして、先生や家の人みなさんを注意するのは、「かなしいゆでカエル」にならないためです。そのことを忘れずに、しっかり注意を受け止めてほしいです。